

企業理念

八方尾根開発株式会社

当社の企業使命

「アルプス感動発信企業」

白馬八方尾根の、山岳を中心としたスケールの大きな自然やこの地に育まれた風土、文化、人情とのふれあいを、訪れるお客様の心に残る観光体験として提供することが当社の使命です。

当社の企業理念

- 「お客様の感動と満足」を当社の究極の商品とします
- 「アルプスの村」の風土と文化に根ざした企業活動を誇りとします
- 感じ取り、発想し、行動する、創造的な企業活動を実践します
- 「人が企業の実体」と捉え、経営理念達成のための逞しい目的集団を目指します
- 比類ない山岳景観にふさわしい「白馬山麓ナンバーワンリゾート」を目指します

会社概要

社名	八方尾根開発株式会社
創立	1960年（昭和35年）12月9日
資本金	84,280千円（2011年10月末現在）
代表者	代表取締役 倉品 光之
役員	代表取締役 倉品 光之 専務取締役 松沢 茂 取締役 中村 実彦 丸山 徹也 丸山 勝 丸山 直樹 太谷 徹 監査役 丸山 一志 丸山 貞治
従業員数	約60人（夏季） 約300人（冬季）
所在地（本社）	〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城 5713
株主構成	株主数 128名（平等株）
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
事業内容	八方尾根スキー場経営・運営及び観光事業、温泉事業等
取引金融機関	大北農業協同組合、長野県信用農業協同組合連合会、八十二銀行

八方尾根スキー場及び当社の沿革

- ・昭和 3 年 細野山岳スキー倶楽部結成
- ・昭和 15 年 細野山岳スキー練成会設立（現、八方尾根スキースクール）
- ・昭和 22 年 第 1 回八方尾根リーゼンスラローム大会開催
- ・昭和 29 年 ①(有)細野スキーリフト設立 名木山にリフト架設
- ・昭和 33 年 ②白馬観光開発(株)設立（東京急行電鉄(株) 兎平までリフト架設・八方池山荘建設
- ・昭和 34 年 ③(有)白馬高原咲花スキーリフト設立 咲花にリフト建設
白馬東急ホテル建設（東京急行電鉄(株)）
- ・昭和 35 年 ④八方尾根開発(株)設立 リーゼンコース「うすば」までリフト架設
- ・昭和 37 年 ⑤(株)細野スキー倶楽部（細野山岳スキー倶楽部から移行）
- ・昭和 41 年 ⑥白樺スキーリフト設立 白樺第 1 リフト架設・食堂建設
- ・昭和 43 年 第 23 回国民体育大会スキー競技大会開催
- ・昭和 57 年 八方尾根観光協会温泉掘削 翌年湧出に成功
- ・昭和 60 年 八方尾根観光協会より八方尾根開発(株)に温泉権利を委譲
- ・昭和 61 年 八方尾根開発(株) 温泉事業開始
- ・平成 5 年 八方、八方口区の各戸引湯工事完成
- ・平成 10 年 第 18 回長野冬季五輪、第 7 回パラリンピック冬季大会開催
- ・平成 12 年 ⑦(株)スカイパーク八方設立（⑤③の合併による）
- ・平成 13 年 白馬観光開発(株) ⑥を吸収合併
- ・平成 15 年 八方尾根開発(株) ①を吸収合併
- ・平成 19 年 八方尾根開発(株) ⑦を吸収合併
- ・平成 20 年 八方インフォメーションセンター開業

スキー場基本データ

営業期間(予定)	2011年11月19日(土)～2012年5月6日(日)
	※降雪・積雪により変動致します
リフト運転時間(基本)	8:00～17:00
ナイター営業(予定)	12月下旬～3月下旬 17:00～21:00
	※積雪により変動致します

●駐車場	
総駐車台数	3000台
駐車料金	0～1000円(平日・土日祝共に)
営業時間	5:00～22:00

●ゲレンデ	
スキー場開設	1928年
総面積	220ヘクタール
標高	760m～1831m
最大斜度	35度(名木山ゲレンデ)
最長滑走距離	8000m(リーゼングラート～黒菱～スカイライン～咲花ゲレンデ)
コース数	13コース
コースレベル比率	初級:30% 中級:50% 上級:20%
ゴンドラ・リフト (全24基)	ゴンドラ:1基(定員6名)
	クワッド:5基
	トリプル:3基
	ペア:15基
リフト待ち時間平均	平日0分 休日5分
スキー・ボード比率	スキー:60% ボード:40%

●場内飲食店	イエティ(うさぎ平テラス)	スノープラザ咲花
総数7軒	カフェ&レストランピラール	カフェテリア白樺
	カフェテリア黒菱	カフェインディアンサマー
	サンテラスぱのらま	

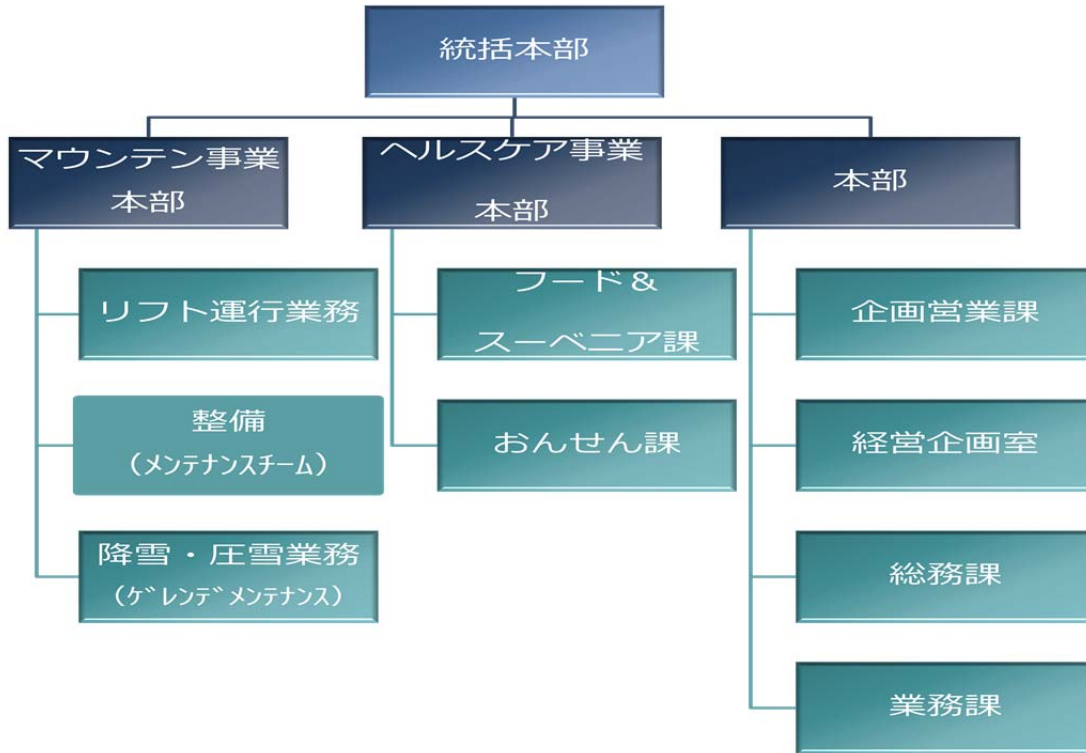
●スノーパーク	八方フリースタイルパーク
設置場所	北尾根第3ゲレンデ
営業期間(予定)	2012年1月28日(土)～2012年4月8日(日)
	※積雪により変動致します
ハーフパイプ	なし

●キッズパーク	すのっちゃん
場所	咲花ゲレンデ
営業時間	8:00～16:30
入場料	無料
遊具使用料	1日500円(ソリ・チューブ等全て込み)
動く歩道	あり
キッズパークPR	雪遊びをテーマにした体験型キッズパーク「すのっちゃん」が
	さらにパワーアップ!

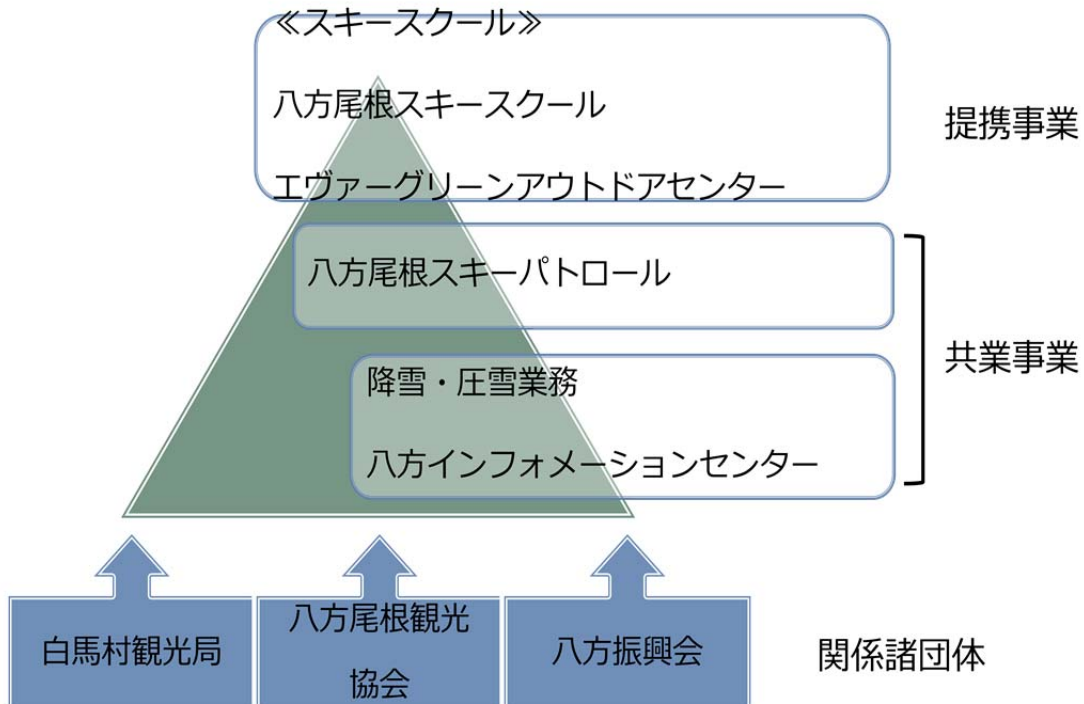
●託児所	八方キッズクラブ
場所	咲花ゲレンデ スノープラザ咲花内
営業時間	8:00～16:30
対象年齢	8か月～3歳
収容人数	10人
予約	必要(TEL:0261-72-7940)
料金	1日6080円～、半日3200円～

●昨シーズン実績	
昨シーズン営業期間	2010年12月16日～2011年5月5日
昨シーズン全面滑走 営業期間	2010年12月25日～2011年3月27日
昨シーズン来場者数	約38万人

● 当社組織図



● 八方尾根スキー場の運営に関わる諸団体



八方尾根開発株式会社

索道安全報告書

(2011年)

白馬八方尾根スキー場



1. 索道利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は経営理念の第一に安全の確保を掲げておりましたが、残念ながら平成19年2月に、索道人身事故が発生いたしました。

この索道事故を反省し、輸送の安全確保のためのソフト面及びハード面の取り組みをより充実させ、索道利用者並びに関係者の皆様に、当社の安全対策や索道事故再発防止対策に対する取り組みを理解していただき、二度とこのような事故を起こさないよう、安全第一を目標に、安心してリフトをご利用していただくために公表するものであります。

八方尾根開発株式会社 代表取締役 倉品光之

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。その安全の確保のための基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- ① 安全は輸送業務の最大の使命である。
- ② 規定の遵守、執務厳正、不断の修練により安全を築き上げる。
- ③ 常に確認を励行し、連絡を徹底する、
- ④ 安全確保のために職責を超えて一致協力する、
- ⑤ 疑わしい時、手落ち無く考え最も安全と認められる方法を採用。

(2) 安全目標

平成19～23年度の索道輸送の安全目標は次のとおりです。

区分	項目	内容
目標	設備不具合によるもの	人身障害事故を発生させない
	ヒューマンエラーによるもの	運行管理上の事故を防ぐ

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成22年度、国土交通省への索道運転事故報告は3件
(係員の軽傷2件、乗客の軽傷1件)

(2) 災害(地震や暴風雨等)

平成22年度、災害による運行停止はありません。

(3) インシデント

平成22年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成22年度、国土交通省からの指導はありません。

●事故再発防止の取組みとして

係員の不注意による労災事故が多い為に、各エリアごとにマネージャーを配置して、安全衛生や各教育の徹底を図ることにしました。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 従業員教育

冬季従業員は、入社時に、従業員としての心構え、及び各リフトに従事する際の機器の取り扱いと運行手順、接遇等を研修しています。

また、メーカー主催のテクニカルセミナー、索道協会主催の索道研修会や、サービス向上セミナーに参加し、索道技術とサービス向上に努めています。今後も外部の研修会及び社内研修会において、従業員教育の向上を目指し、入社後も定期的に教育訓練を行なっていきたいと思っております。

(2) 緊急時の救助訓練

シーズン初め及びシーズン中、救助用具の取り扱いと、リフトが停止した状況を想定して、搬器から乗客を降下させる為の救助訓練を実施しています。ゴンドラリフトや長距離リフトが故障した時の乗客の救助を、近隣のスキー場どおしが協力して行なえるよう、広域救助隊（仮称）を組織化し、シーズン前には合同で救助訓練を行なう予定です。

また、チェアスキーヤー（シットスキーヤー）の救助訓練を、関係者の協力のもと、専用救助用具を使い訓練を実施しております。

(3) 安全のための投資

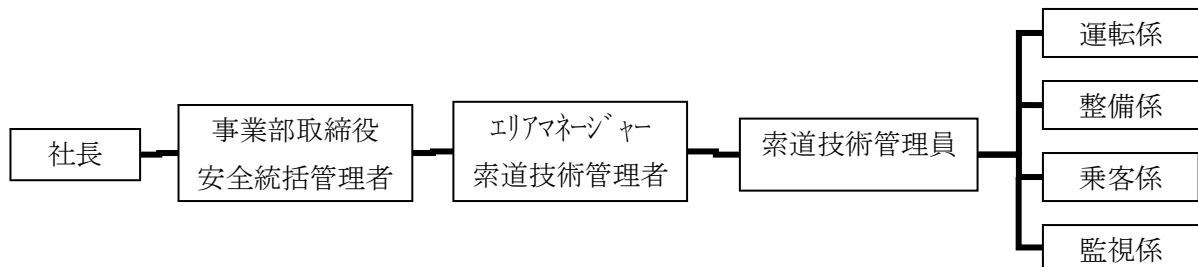
毎年、各索道技術管理者から設備の改善、改修事項が提出され、それを検討したうえで設備の修繕計画を立てております。今年度は主に、

・咲花第2ペアリフト	原動機のオーバーホール	(1,500 千円)
・グラートクワッド	ギアボックスのオーバーホール	(1,300 千円)
	ノーヒューズブレーカー交換	(1,890 千円)
・咲花北尾根クワッド	駆動輪OH、場内調整工事、ブレーカー	(8,600 千円)
・黒菱第2クワッドリフト	制動機ユニット、本体OH、	(3,000 千円)、
・リーゼンクワッド	制御盤更新	(18,000 千円)
・スカイライン第2	通信線、脱索検出機更新	(7,500 千円)
・国際第1リフト	緊張シリンダー交換、交流フィルター交換	(4,615 千円)

等を実施致しました。

5. 当社の安全管理体制

(組織図)



(役職と役割)

社長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する

6. 利用者の皆様の連携とお願い

- (1) 八方尾根スキー場は、北アルプスから尾根状に伸びる雄大なスキー場になっており、コース外は雪崩が発生しやすい急峻な地形もございます。ゲレンデマップや看板を参考に、コース外には出ないようにお気をつけ下さい。
- (2) 暖かい日は、上着を脱いで腰などに巻きつけて、リフトに乗車されるお客様がいらっしゃいますが、リフトから降りる際、ウェアの紐が搬器（椅子）に引っかかる場合があります、大変危険です。リフトから降りる際は充分お気をつけ下さい。
- (3) リフトの乗車、降車時は、係員の指示に従ってご利用願います。
- (4) 初心者、初級者で、リフトの乗り降りに不安がある方は、係員にお申し出下さい。

7. ご連絡先

〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城5713

八方尾根開発株式会社 マウンテン事業本部

TEL 0261-72-2715

FAX 0261-72-6310